

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	2,762 千円	2,300 千円	344~345

【教育総務課】

○教育委員会 2,301 千円

■定例教育委員会の開催

令和3年度は12回開催しました。

委員会では、規則・要綱等の制定・改正、各種委員・審議会委員の任命又は委嘱等計58件の議案について審議を行いました。



【定例教育委員会】

■各種研修会への参加及び視察研修の実施

例年、県市町村教育委員会連絡協議会の研修会等に参加し研鑽を積んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されました。

また、隔年で実施される九州地区市町村教育委員研修大会についても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

■教育委員の活動状況

令和3年度は教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で40回の活動を行いました。



【島原市教育委員会表彰】

○総合教育会議

- ・開催日時 1月24日（月）
- ・参加者 市長、教育長、教育委員、市職員
- ・議題

- (1) 第3期島原市教育振興基本計画（案）について
- (2) 島原市立小・中学校の新しい学校のあり方（案）について
- (3) 市プールによる学校水泳授業の成果と課題について
- (4) 公民館のあり方について



【総合教育会議】

総合教育会議に出席し、上記協議題について市長と協議するとともに意見交換を行いました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	2	事務局費	349,333 千円	331,097 千円	344～351

○北村西望賞教育美術展 677 千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第43回目）を開催しました。平面の部及び立体の部 出品数254点

・北村西望賞、奨励賞授賞状況

区分	小学校		中学校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	2人	6人	1人	3人
立体の部	2人	6人	1人	3人



「むしだいすき！」 川尻 そのほ(第三小)



「ミニトマトおいしいね」 宮崎 珀斗(三会小)



「セミと夏」 龍菌 柚那(第三中)



「あともう少し」 深田 桜子(第一小)



「巨大ワニ」 新田 陽太郎(第一小)



「平和の象徴」 林 響(有明中)

○小・中学校学力向上対策事業 5,109 千円

新型コロナウイルス感染症の影響のため、全国学力・学習状況調査及び県学力調査、市学力調査を令和3年度5月に実施しました。本事業は児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために学力調査を実施しています。

- ・全国学力学習状況調査及び県学力調査を実施したことで、全国平均や県平均と市全体また学校別の学力の定着状況を比較し、課題を把握することができました。
- ・市学力調査については小学校2～4年の国語、算数、中学校1年国語、数学の平均正答率が全国平均をすべて上回ることができました。特に、小学校3年算数は全国平均を5.1ポイント上回っていました。

以上のことから、本市の小・中学生の学力は、期待される一定の学力が身に付いている状況であると考えられます。これは、全国、県、市の学力調査の結果をもとに数値目標を掲げ、ねらいに即した「書く活動」を重視した授業、補充学習、家庭学習の充実に学校全体で取り組んだ成果と言えます。

具体的実践事項

- ・市学力調査実施
小2～小4、中1・中2…国語、算数、数学、英語
- ・問題データベースの導入
小学校…国語、算数、理科、社会
中学校…国語、数学、英語
- ・中学校統一実力テスト 中1～中3…国語、数学、英語

新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、以下の事業は中止としました。

- ・島原市教育講演会への講師招聘
長崎大学大学院 教授 長谷川 哲朗 氏

○外国語指導助手招致事業 15,706 千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手（ALT）を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1～2回ALTを活用した授業を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により来日が遅れ、11月までは2人のALT配置でしたが、11月以降3人が追加され5人の配置となり、小学校3・4年生においてもALTを活用した授業を受けられるようになりました。

小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育ちました。

※令和4年4月以降、新規に2名配置の予定です。

氏名	出身国	配置校	訪問校
コーンブルム・スティーブン	U.S.A.	有明中学校	大三東小学校 湯江小学校 高野小学校
パケット・ラファエル	カナダ	第一小学校	第二小学校
クリスティーナ・ヒギンス	U.S.A.	第一中学校	第四小学校
アイザック・アンドリュース	U.S.A.	第三中学校	第五小学校
トーマス・ファーカーソン	カナダ	三会中学校	三会小学校

○中学生海外訪問交流事業 0千円

新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止としました。

○姉妹都市等交流事業 0千円

新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止としました。

○不登校児童生徒適応指導事業 3,629千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てました。

- ・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行い、令和3年度は2人の学校復帰につながりました。

- ・適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2人

開室日(時間) 毎週月曜日から金曜日までの週5日(午前9時30分～午後3時30分)

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

令和3年度 不登校児童生徒数	小学校	9人
	中学校	35人
	計	44人

令和3年度 ひまわり教室通級者数	小学校	0人
	中学校	6人
	計	6人

- ・不登校児童生徒数の推移

区分		H29	H30	R元	R2	R3
小学校	人数(人)	6	4	4	6	9
	割合(%)	0.25	0.26	0.17	0.25	0.39
中学校	人数(人)	26	25	22	29	35
	割合(%)	2.30	2.30	1.94	2.75	3.15
人数計(人)		32	29	35	26	44

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があった児童生徒)

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	139,994 千円	139,463 千円	350～357

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 13,249 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全確保に努めました。

○児童見守りシステム導入業務委託料 4,816 千円

児童の安全・安心を確保するシステムとして、平成19年度から運用していた島原地域児童見守りシステムが、令和3年度をもって終了することとなったことから、新たな児童見守りシステムを導入しました。

【業務委託内容】

対象者	市内全小学校の1・2年生（特別支援学級と三会小学校長貫分校地区の児童は全学年）845人
基地局	端末感知用基地局の校門等設置（26箇所）

○水泳授業補助業務委託料 2,120 千円

有明地区の小学校（3校）について、令和3年度から有明プール利用による授業を試行的に実施しました。

○校務支援システム環境整備業務委託料 3,131 千円

教職員の働き方改革として、業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることを目的として導入した校務支援システムの環境整備（ネットワークの構築及びパソコン設定等）を行いました。

○校務支援システム利用料 484 千円

教職員の働き方改革として、業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることを目的として導入した校務支援システムの利用料です。

○学校管理備品購入費 4,530 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品 目	学 校 名	金 額
児童用机・イス	第一小・第四小・第五小・三会小・ 大三東小・湯江小	2,871 千円
運動場用放送設備ワイヤレスチューナー一式	第二小	360 千円
職員用机・イス	第一小	222 千円
公用バイク	高野小	177 千円
その他	市内各小学校	900 千円

○校庭芝生化事業 985 千円

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭を芝生化します。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組みました。令和3年度は、散水作業の負担軽減のため散水設備の導入を行いました。工事請負費：733 千円
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 施肥、芝刈、水やり、除草作業等



散水設備による散水



散水設備 2組
(スプリンクラー、ホース、ジョイント等)

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	88,905 千円	83,252 千円	356～361

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 389 千円

教育振興のために楽器等を購入して、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品 目	学 校 名	金 額
メタロフォン・スネアドラム (音楽備品)	第二小・第四小	261 千円
ロイター型踏切板、クロスバ ー (体育器具)	三会小・大三東小	59 千円
セパレート型体重計	湯江小	53 千円
黒板ピタライト	高野小	16 千円

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（小学校） 657 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施しました。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となりました。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 第一小、第三小、第五小、三会小
国立諫早少年自然の家 第二小、第四小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 第一小、第二小、第三小、第四小、三会小、大三東小、湯江小
高野小
日帰り 第五小
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、
課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、
星空ウォッチング等

○学校司書配置事業（小学校） 7,986 千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率1%以下を維持する等、図書館教育の充実を図ることができました。

- ・各小学校に学校司書を1人配置（計9人）
- ・1日6時間の週3日配置

■貸出冊数の推移（児童一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
小学校	170.4	173.6	166.8	173.4	181.9	184.5

■不読者率（1か月に1冊も本を読まなかった者の割合）

区分	H29	H30	R元	R2	R3
小学校	0.32%	0.28%	0.26%	0.25%	0.00%

※ 島原市教育振興基本計画 目標 不読者率1%以下

○学習支援員事業（小学校） 13,764千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

- ・小学校5校に支援員を1人配置、小学校4校に2人配置（計13人）
- ・1日5時間の週5日配置

○幼児ことばの教室設置事業 1,154千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害を改善することができました。

【入退室等の状況】

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
教育相談（件）	26	31	33	35	42	35
入室児（人）	32	24	30	25	30	23
退室児（人）	26	17	24	17	24	44

- ・第二小に支援員を1人配置。
- ・概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行いました。

○指定研究校補助金 504千円

毎年、小学校の2～4校程度（小・中学校で5校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表しました。

- ・1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和3年度小学校研究指定校（3校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第一小	自分の考えを持ち、認め合い、高め合う子どもの育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した算数科授業を通して～	R元～R3年度 3年目
第四小	自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成 ～楽しく学ぶ外国語活動・外国語科を通して～	R3～R5年度 1年目
湯江小	自ら学び、生き生きと表現する子どもの育成 ～教科の見方・考え方を働かせる学びのサイクルの確立をめざして～	R3～R5年度 1年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 11,138 千円

・ICT支援員

ICT教育にかかる機器類の操作支援や授業支援を目的に、令和3年度はICT支援員2人を配置しました。

・フィルタリングソフト

GIGAスクール一人一台パソコンが、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

・GIGAスクールサポーター配置支援業務委託料

国のGIGAスクールサポーター配置事業を活用し、GIGAスクール構想による急速な小中学校のICT化（設定及び運用等）における支援を行うため、ICT企業の人材等ICT技術に関する知見を有する者を小中学校に配置又は派遣するGIGAスクールサポーター配置支援業務を実施しました。

○小学校就学援助経費 23,677 千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

(児童に対する支給実績)

支給費目	件数	支給総額 (円)	一人当たり (円/年)
学用品費等	378	7,099,970	18,783
うち新入学用品費	(41)	(2,093,460)	(51,060)
(差額支給)	(37)	(111,000)	(3,000)
うち学用品費・通学用品費	(337)	(4,318,510)	(12,815)
うちオンライン通信費	(289)	(577,000)	(1,997)
修学旅行費	67	1,218,228	18,183
校外活動費	64	124,340	1,943
社会科見学活動費	49	118,590	2,420
医療費	103	512,990	4,980
学校給食費	342	14,603,028	42,699

準要保護世帯の認定状況 (小学校)

	H29	H30	R元	R2	R3
認定者数	337人	346人	349人	335人	329人
全児童数	2,307人	2,311人	2,330人	2,278人	2,308人
認定率	14.61%	14.97%	14.98%	14.71%	14.25%

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	396,705 千円	219,675 千円	360～365

【教育総務課】

○工事請負費 62,975 千円

緊急度を考慮し計画的に小学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額
第二小学校	体育館床張替工事	20,636 千円
第四小学校	揚水ポンプユニット取替工事	1,124 千円
第五小学校	国道拡張に伴う改修工事（Ⅰ期）	22,003 千円
	国道拡張に伴う改修工事（Ⅱ期）	8,579 千円
三会小学校	普通教室エアコン更新工事	3,847 千円



着工前

完成

第五小学校 国道拡張に伴う改修工事（Ⅰ期）

○建築非構造部材の耐震化工事 68,431 千円

近年の大規模な地震では天井材や外壁など、いわゆる「非構造部材」の落下による被害も発生しており、また災害時における避難場所としての必要な機能が発揮できるよう外壁の耐震対策を行いました。

年次計画で更新を進めており令和3年度においては湯江小学校の外部工事を行いました。

学校名	工事名称	金額
湯江小学校	第1棟外部改修工事	68,431 千円

○降灰防除事業工事 69,262 千円

現在設置してあるエアコンは、雲仙・普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後29年余りが経過し、老朽化により稼働していない機体も多くあります。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和3年度においては高野小学校、湯江小学校のエアコン85台を更新し、児童の学習環境の整備・充実を図りました。

学校名	工事名称	金額
高野小学校	校舎エアコン更新工事	24,829 千円
湯江小学校	第11棟 校舎エアコン更新工事	32,973 千円
	第16棟 校舎エアコン更新工事	11,460 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	70,953 千円	70,183 千円	364~369

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 9,125 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全対策に努めました。

○校務支援システム環境整備業務委託料 1,445 千円

教職員の働き方改革として、業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることを目的として導入した校務支援システムの環境整備（ネットワークの構築及びパソコン設定等）を行いました。

○校務支援システム利用料 242 千円

教職員の働き方改革として、業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることを目的として導入した校務支援システムの利用料です。

○学校管理備品購入費 2,479 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品名	学校名	金額
美術室用机・イス	第一中・有明中	654 千円
デジタル印刷機	三会中	495 千円
テント	第三中	233 千円
製氷機	第二中	205 千円
生徒用机・イス	第二中	201 千円
その他	市内各中学校	691 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	73,947千円	66,681千円	368～373

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 868千円

教育振興のために体育器具等を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品目	学校名	金額
マット・卓球台 (体育器具)	第二中・有明中	387千円
無線アクセスポイント	第一中	160千円
A Vレシーバー・スピーカー	第三中	146千円
その他	市内各中学校	175千円

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（中学校） 0千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うことをねらい計画しましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止しました。

○学校司書配置事業（中学校） 4,609千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率1%以下を維持することができました。また、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（資料の紹介、提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができました。

- ・各中学校に学校司書を1人配置（計5人）
- ・1日6時間の週3日配置

■貸出冊数の推移（生徒一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
中学校	21.0	23.8	25.5	25.3	29.4	30.1

■不読者率（1か月に1冊も本を読まなかった者の割合）

区分	H29	H30	R元	R2	R3
中学校	1.12%	0.66%	0.49%	0.73%	0.25%

※ 島原市教育振興基本計画 目標 不読者率1%以下

○学習支援員事業（中学校） 7,823 千円

中学校において普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

- ・ 中学校 3 校に支援員を 1 人配置、中学校 2 校に支援員を 2 人配置（計 7 人）
- ・ 1 日 5 時間の週 5 日配置

○中高教育交流事業 0 千円

生徒たちに「生命^{いのち}」のすばらしさや尊さを学ばせることを目的とし、三会中学校と島原農業高校が連携をして実施していた島原市中高教育交流事業は、令和 2 年度で終了となりました。

○心の教室相談事業 2,995 千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の教室相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供しました。

（職務）

- ・ 生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。
- ・ 地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。
- ・ その他、学校教育活動の支援を行います。

（配置数）

- ・ 各中学校に 1 人ずつ配置

（相談延べ人数）

（単位：人）

区 分		H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3
1 年	男	1 6 4	2 5 1	4 1 8	4 9 5	7 8	2 2
	女	1 0 3	7 7	3 3 2	4 6 5	1 9 2	1 3 9
2 年	男	1 1 1	6 7 8	2 9 1	2 8 2	3 5 3	4 3 6
	女	2 5 4	3 1 8	3 4 7	1 1 7	4 1 4	3 1 4
3 年	男	3 7 7	5 6	3 0 0	6 0 9	1 6 5	4 5 3
	女	4 7 0	3 3 9	3 2 0	3 3 0	3 3 2	5 9 0
延べ人数計		1, 4 7 9	1, 7 1 9	2, 0 0 8	2, 2 9 8	1, 5 3 4	1, 9 5 4

- ・ 心の教室相談員等連絡協議会を 2 回開催した。

○指定研究校補助金 336 千円

毎年、中学校の 1～3 校程度（小・中学校で 5 校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表しています。

- ・ 1 つのテーマに沿って 3 年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。
- ・ 学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和3年度中学校研究指定校（2校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第二中	基礎・基本を身につけ、 学んだことを活用できる生徒の育成 ～読解力の視点を踏まえた授業改善を通して～	R元～R3年度 3年目
三会中	自己を見つめ、よりよく生きようとする心豊かな生徒の育成 ～授業改善と教育活動全体からのアプローチを通して～	R2～R4年度 2年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 2,852千円

- ・フィルタリングソフト

GIGAスクール一人一台パソコンが、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

- ・GIGAスクールサポーター配置支援業務委託料

国のGIGAスクールサポーター配置事業を活用し、GIGAスクール構想による急速な小中学校のICT化（設定及び運用等）における支援を行うため、ICT企業の人材等ICT技術に関する知見を有する者を小中学校に配置又は派遣するGIGAスクールサポーター配置支援業務を実施しました。

○中学校就学援助経費 20,899千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

（生徒に対する支給実績）

支給費目	件数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	266	8,989,770	33,796
うち新入学用品費	(68)	(4,080,000)	(60,000)
うち学用品費・通学用品費	(198)	(4,522,270)	(22,840)
うちオンライン通信費	(198)	(387,500)	(1,957)
修学旅行費	66	1,864,749	28,254
校外活動費	1	3,300	3,300
医療費	30	208,960	6,965
学校給食費	199	9,832,580	49,410

準要保護世帯の認定状況（中学校）

	H29	H30	R元	R2	R3
認定者数	192人	189人	172人	181人	197人
全生徒数	1,133人	1,129人	1,047人	1,131人	1,112人
認定率	16.95%	16.74%	16.43%	16.00%	17.72%

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	173,516千円	101,365千円	372~375

【教育総務課】

○工事請負費 29,390千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額
第二中学校	運動場東側防球ネット解体工事	4,180千円
第二中学校	運動場東側フェンス工事	1,298千円
第三中学校	第三中学校校舎エアコン更新工事	4,461千円
三会中学校	三会中学校キュービクル更新工事	12,925千円
有明中学校	有明中学校掲揚台改修工事	1,177千円
有明中学校	浄化槽接触材入替工事	1,295千円



着工前

完成

三会中学校キュービクル更新工事

○降灰防除事業工事 63,722千円

現在設置してあるエアコンは、雲仙・普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後29年余りが経過し、老朽化により稼働していない機体も多くあります。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和3年度においては、第一中学校のエアコン63台を更新し、生徒の学習環境の整備・充実に努めました。

学校名	工事名称	金額
第一中学校	校舎エアコン更新工事 1工区	19,227千円
	校舎エアコン更新工事 2工区	21,963千円
	校舎エアコン更新工事 3工区	22,532千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	61,366 千円	51,226 千円	374～389

【社会教育課】

○市民文化講座経費 37 千円

市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催し、島原の歴史等について学んでいただくことができました。

第 218 回市民文化講座「戦国時代前半の有馬氏」	参加者数 66 人
第 219 回市民文化講座「島原・災害 30 年、東北・震災 10 年で思うこと」	参加者数 44 人
第 220 回市民文化講座「庭に生かされて生きる」	参加者数 42 人

○梅林俳句会経費 0 円

俳句を通じた市民の文化交流を図るために開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

○市美術展経費 118 千円

市民の鑑賞と美術活動の場としての交流を図るために開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

○自主事業運営経費 687 千円

子供たちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催し、子供たちが伝統文化に親しみました。

- ・体験型事業

名 称	肥前島原子ども狂言 (5月～3月、計14回)
実参加者数	31 人



○市民音楽祭経費 316 千円

本市における音楽の普及向上を図ることができ、観衆に感動を届けることができました。

参加団体数	20 団体
入場者数	971 人



○コミュニティ助成事業助成金 2,900 千円

一般財団法人自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品等の購入に対し助成しました。

- ・萩が丘南自治会 コミュニティ活動備品の整備 1,500 千円

- ・一本松自治会 エアコン他コミュニティ活動備品の整備 1,400 千円

○文化財経費 11,761 千円

指定文化財の保護と活用、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、肥前島原松平文庫の公開、修復、マイクロフィルム化等を行いました。

- ・文化財数 国指定5 国登録37 県指定11 市指定78
- ・肥前島原松平文庫 来庫者数 387人
マイクロ撮影数 65点(6, 212コマ)
- ・薬園跡 入場者 883人

○旧島原藩薬園跡整備事業費 5,220 千円 (シルバー除草 190 万円含む)

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めました。

○地域おこし協力隊文化財活用事業経費 1,337 千円

7月まで地域おこし協力隊の1人を委嘱し、歴史漫画「墨是可新話」を50冊作成し、市内各小・中学校や図書館に配布しました。

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費 2,555 千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行いました。

- ・埋蔵文化財発掘調査 7遺跡(島原城跡、寺中城跡、寺中B遺跡、上一野遺跡、下源在高野遺跡、甘木遺跡、西川遺跡)

○古文書調査事業 2,945 千円

松平文庫及び島原城が所蔵する未整理資料について、文化庁調査官の現地指導及び助言の下、全5回の調査を実施しました。本市職員(学芸員)に加え岩崎九州大学准教授以下、延べ31人の大学教員が参加し、4,992点の史料を調査しました。

○島原市文化財保存活用地域計画 5,249 千円

島原市に所在する文化財を「島原の歴史」等から抽出し現地調査等を行い、全体的な保存・活用の計画を作成しました。(令和3年度～令和5年度)

- ・未指定文化財リストアップ 1,000件、現地調査 200件
- ・ワークショップ(4地区) 三会、森岳、湯江及び安中地区 参加者数95人(のべ人数)
- ・作成委員会 2回(うち1回は書面決議)

○公民館学級運営費 1,211 千円

市民のニーズに応じた各種講座・学級を開設し、自ら学ぶ生涯学習の意欲が高まりました。

- ・三会公民館学級運営費 175千円
- ・森岳公民館学級運営費 130千円
- ・白山公民館学級運営費 148千円
- ・有明公民館学級運営費 217千円
- ・杉谷公民館学級運営費 138千円
- ・霊丘公民館学級運営費 232千円
- ・安中公民館学級運営費 171千円

学級名	学級数	実施回数	参加人員（延べ）
青年教室	1学級	1回	4人
女性学級	9学級	44回	719人
家庭教育学級	8学級	15回	1,816人
高齢者学級	7学級	34回	762人
公民館自主講座	14学級	60回	689人
合計	39学級	154回	3,990人

○地域子ども教室推進事業経費 2,334千円

・放課後子ども学習室

市内全小・中学校において開設し、自学の習慣と学力向上を図りました。

4月～3月（長期休業中を除く）

実施日数 延べ 1,568日

参加人員 延べ32,318人

・夏休み稽古館

対象は小学生であり、初級コース全4回実施しました。

内容は論語の素読、古典の音読と暗唱を行い、古典文学に親しむことができました。
参加者数 延べ36人



夏休み稽古館

○通学合宿支援事業経費 0千円

通学合宿は、小学校区単位で3年生から6年生までを対象として、3泊4日の生活体験を公民館等で実施し、たくましく生きる力を育む事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

○地域・家庭教育力活性化推進事業費 28千円

地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施しました。

・健康教育講座 開催数 1回 参加者数 47人

（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）

・思春期子育て講座 開催数 2回 参加者数 175人

（回数及び人数は、家庭教育学級、健康教育講座の再掲）

○子ども読書活動推進事業費 28千円

第三次島原市子ども読書活動推進計画の取組として、県立図書館長による社会教育講演会、図書ボランティア養成講座、学校司書研修会、図書ボランティア交流会を実施しました。



社会教育講演会

○成人式経費 447 千円

新成人の門出を祝うため、令和4年1月3日に成人式を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年から延期していた令和3年の対象者と令和4年の対象者の2つの世代の合同で開催しました。

また、当日会場へ参加できない方のために、Y o u T u b eによるオンライン配信を行いました。

- ・令和3年成人式対象者 499人 出席者 63人
- ・令和4年成人式対象者 535人 出席者 389人
- ・Y o u T u b e再生回数 169回

○少年センター運営経費 3,543 千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施しました。

※令和3年度実績 補導件数8件、相談件数4件、白ポスト回収106点

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	2	公民館費	167,932 千円	157,821 千円	390～403

【社会教育課】

○公民館運営費 90,173 千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

令和3年度公民館利用状況

区分	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	28	430	128	1,787	860	4,260	225	3,793	1,241	10,270
三会	26	360	88	1,543	281	1,889	165	4,084	560	7,876
杉谷	25	466	91	1,814	518	5,082	159	4,165	793	11,527
森岳	59	1,059	411	5,039	740	6,325	273	5,081	1,483	17,504
霊丘	27	606	257	3,452	412	4,022	127	3,188	823	11,268
白山	15	328	81	1,469	588	6,567	150	5,930	834	14,294
安中	19	245	120	2,045	224	1,932	109	4,986	472	9,208
計	199	3,494	1,176	17,149	3,623	30,077	1,208	31,227	6,206	81,947

主な施設整備

- ・白山公民館ガス空調機修繕 1 6 4 千円
- ・安中公民館非常放送設備取替修繕 4 8 4 千円
- ・霊丘公民館外壁等改修工事 4 4, 7 2 4 千円



高齢者学級



女性学級

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	64,094 千円	63,416 千円	402～405

【社会教育課】

○図書館運営経費 61,964 千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託しました。

(再掲) 図書館指定管理料 52,406 千円

・島原図書館

開館日数	272日	登録者数	53,494人
利用者数	29,287人	貸出冊数	148,354冊
視聴覚資料 貸出点数	2,014点	蔵書数	135,086冊
自主事業	おはなしひろば、夏休み工作教室、手作り講座、読書感想画展等を実施。		

・有明図書館

開館日数	270日	登録者数	53,494人
利用者数	11,164人	貸出冊数	68,362冊
視聴覚資料 貸出点数	1,309点	蔵書数	84,331冊
自主事業	おはなしポケット、手作り講座、子供向け講座等を実施。		

※登録者数については、両図書館共通の貸出カードを交付するため同数となっています。

※蔵書数には、視聴覚資料を含みます。



科学教室



こわ～いおはなし会

(施設整備)

島原図書館においては雨漏り修繕を行い、有明図書館においては空気清浄機を購入しました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営経費	89,433 千円	88,540 千円	404～407

【社会教育課】

○文化振興経費 84,803 千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託しました。

（再掲）島原文化会館 指定管理料 37,204 千円

開館日数	295 日
利用人数	37,853 人
利用回数	719 回
自主事業	映画上映会、グランドピアノを弾こう、みんなで踊ろう！阿波踊り、ジェルキャンドルを作ろう！など

（再掲）有明文化会館 指定管理料 37,541 千円

開館日数	292 日
利用人数	30,082 人
利用回数	1,235 回
自主事業	アロマヨガ教室、おたのしみ上映会、初夏の寄せ植え講座、忙しい人のための筋トレ教室、二胡ロビーコンサートなど



ジェルキャンドルを作ろう！



二胡ロビーコンサート

（施設の整備）

島原文化会館においては、大ホールロビー系統空調機修繕、非常用電源設備蓄電池取替修繕を行い、大ホールワイヤレスシステムを購入しました。

有明文化会館においては、母子室エアコン設置修繕、大ホール・多目的ホール舞台照明設備保全整備部品交換修繕、デジタル指示調整計取替修繕等を行い、多目的ホールワイヤレスシステムを購入しました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	47,090 千円	44,462 千円	406～409

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費 14,897 千円

本市児童・生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図りました。

・部活動消耗器材費	687 千円
・部活動充実費	124 千円
・部活動運営費補助金	1,247 千円
・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金	5,419 千円
・島原市中学校体育大会補助金	3,778 千円
・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金	3,642 千円

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 5,103 千円

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施しました。

・児童・生徒検診（結核、心臓、尿）	2,511 千円
・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿）	2,561 千円
・心の健康ストレスチェック事業	31 千円

○フッ化物洗口推進事業 450 千円

う歯予防及び低減に向けて、全小・中学校においてフッ化物洗口を実施しました。

・消耗品費（洗口用紙コップ代他）	133 千円
・医薬材料費（洗口用薬剤代）	317 千円

（実施率）H27年度	30%
H28年度	100%
H29年度	100%
H30年度	100%
R 元年度	100%
R 2年度	100%
R 3年度	100%

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	284,947 千円	265,039 千円	408～417

(スポーツ課)

○平成新山島原学生駅伝大会 16,128 千円

駅伝大会を島原市で開催することにより、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として認知度を高め、島原半島世界ジオパークはもとより魅力ある島原の情報を広く県内外に発信しました。

〈参加チーム数〉

男子	女子	合計
22チーム	7チーム	29チーム

○(スポーツ振興総務経費)スポーツ大会 157 千円

〈開催実績〉

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

大会	期日	対象	参加者数
市民親睦サッカー大会	4月25日	一般	212人
市民親睦ソフトバレーボール大会	7月18日	一般	51人
少年軟式野球大会	-	中学生	※中止
市民親睦ソフトボール大会	7月18日	一般	70人
少年ソフトボール大会	12月11日	小学生	120人
市民親睦テニス大会	12月12日	一般・高校生	66人
市民親睦バドミントン大会	-	一般	※中止
市民親睦卓球大会	-	小・中・高・一般	※中止
合計	5回		519人

○島原市民体育祭 49 千円

例年、広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催しておりますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大運動会・各種競技会ともに中止しました。

令和3年度実績

区分	期日	参加者数
市民体育祭大運動会	10月10日	中止
市民体育祭各種競技会	10月3日	中止
合計		-

○(スポーツ振興総務経費)有馬スポーツ賞 184千円

<受賞者数>

※新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式中止

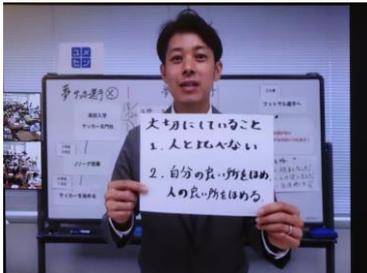
区分	小学校	中学校	その他	合計
個人	3人	6人		9人
団体	3団体	3団体		6団体

○「夢の教室」公演事業 1,046千円

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン形式で学校にいる「子どもたち」と「夢先生」を繋ぎ、トップアスリートが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さ、失敗を乗り越えようとする意識や態度など、子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催し、心の教育の充実を図りました。

<開催実績>

開催校	学級数	夢先生の人数
9校	14学級	388人

		
10月12日(火)	10月13日(水)	10月14日(木)
三小	五小	四小
茂怜羅 オズ (ビーチサッカー)	田中 琴乃 (新体操)	清水 利生 (フットサル)
		
10月20日(水)	10月21日(木)	11月10日(水)
二小	三会小	湯江小・大三東小
古河 裕次 (サッカー)	田中 聖美 (バレーボール)	高橋 一馬 (アイスホッケー)



11月11日(木)	11月12日(金)
一小	高野小
千葉 真子 (マラソン)	川邊 隆弥 (サッカー)

○ジュニアスポーツ振興事業 0千円

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に伴う、小・中学生派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大により本市児童・生徒への感染リスクを伴うことや例年実施している夏休み期間が受入期間対象外となったことにより、派遣期間が制限され十分な研修が実施できないことから中止しました。

また、スポーツ指導者研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

○施設管理の状況

施設名称	運営経費	運営経費のうち 指定管理料	指定管理者
島原復興 アリーナ ほか周辺 施設	65,091千円	60,348千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無料開放デー ・夏休み無料開放デー ・心と体のリラックス YOGA 教室 ・リフレッシュ健康体操教室 ・復興応援コンサート 	
	施設整備	サブアリーナ雨漏り修繕、電動式椅子付移動観覧席部品交換修繕、サブアリーナ屋根サッシ廻り修繕、消防設備不良箇所修繕、移動式バスケットゴールアンカー取付修繕、平成町多目的広場芝刈機購入等 (4,743千円))	

霊丘公園 体育館・弓 道場ほか 周辺施設	52,484千円	50,556千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館無料開放デー ・ジュニアバレーボール教室 ・認知症予防運動(コグニサイズ)を学ぼう ・卓球教室 ・バドミントン教室 ・初心者弓道教室 ・空手教室 ・温水プール市内小中学生土曜無料開放 ・ワンポイント水泳教室 ・水中ウォーキング教室 ・バタ・ヒラ水泳教室 ・水中シェイプアップ教室 ・プールでゴムボートに乗っちゃおう! ・プール川柳 ・温水プール無料開放デー 	
	施設整備	ガラス飛来防止鉄格子修繕、有馬武道館屋外階段軒裏修繕(1,403千円)	
陸上競技場 ほか周 辺施設	23,249千円	20,776千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無料ウォーキングデー ・ラグビー教室 ・ジュニアマラソン陸上教室 	
	施設整備	市営球場前公衆トイレ浄化槽修繕、総合運動公園庭球場トイレ横通路修繕、総合運動公園庭球場ベンチ修繕、電気計時計測装置保守点検業務委託、島原市営陸上競技場芝刈機購入、島原市営陸上競技場動力噴霧器購入等(2,468千円)	
有明プー ル	26,978千円	20,798千円	(株)しまばらウェルネッサンス
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児水泳教室 ・夏休み水泳教室 ・保育園健康水泳教室 	
	施設整備	ポンプ取替修繕、ユニエーター連結管取替修繕、男女更衣室空調機修繕、浄化槽ブロワー修繕、電動3方弁取替修繕、屋根野地板取替修繕、有明プール屋根換気窓改修工事等(6,180千円)	
平成町人 工芝グラ ウンド	14,602千円	13,085千円	(一社)長崎県サッカー協会
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための生き生き健康教室 ・敬老の日無料開放 ・親子ふれあい広場 	
	施設整備	ベンチ修繕、剪定枝等運搬処分業務委託、サッカーゴールネット購入、小学生用サッカーゴールポスト購入、補充用カラーチップ購入等(1,517千円)	

○東京 2020 オリンピック聖火リレー事業 4,832 千円

東京 2020 オリンピック聖火リレー事業として市内を走行し、オリンピック開催の機運醸成を図るとともに、本市オリパラ競技事前キャンプ受け入れへの市民の関心を高めることができました。

聖火リレーの「火」を安全・確実に走者間を繋いでいくために、交通規制や警備を実施し、あわせて、ミニセレブレーションの開催などや装飾などで聖火リレーを盛り上げました。

■期 日：令和 3 年 5 月 7 日（金）

■距 離：1. 8 km、9 スロット（区間）

■ル ー ト：島原城天守閣前～島原図書館～島原市役所～R251～宮の町(すき家)～島原文化会館



○東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ事業 33,861 千円

本市にて、『東京 2020 パラリンピック ドイツパラ陸上選手団事前キャンプ（受入）』を実施しました。

キャンプ期間中、コロナ禍による様々な活動制限（制約）がある中、交流事業として「元パラリピアンによるパラ陸上競技観戦セミナー」、「歓迎セレモニー」「採火式への選手参加」「選手団激励会及び練習見学会」を実施しました。

当初計画した選手団と多くの市民との直接のふれあい交流は制限されましたが、オンライン交流を用いるなど、より効果的な取り組みを行い、パラリンピック開催への市民の関心を高めるなど機運醸成を図ることができました。

■選手団：23人（選手13人、コーチ等スタッフ10人）

■キャンプ期間：令和3年8月14日（土）～8月28日（土） ※15日間

■練習会場：島原市営陸上競技場、島原復興アリーナ、ホテル内トレーニングルーム（仮設）

■交流事業等：

（1）7月29日（木）：「パラ陸上競技観戦セミナー」

- ・市内中高生100人の参加により、元パラリピアン「花岡 伸和」氏を招き、公開練習見学や競技観戦ポイントに関する講義及びドイツパラ選手の紹介などがあり、キャンプ受入れに関する機運醸成を図りました。



（2）8月15日（日）：「歓迎セレモニー」 ※ホテルシーサイド島原にて



（3）8月16日（月）：「パラリンピック採火式」へのドイツ選手団の参加

- ・オンライン参加により、代表選手2人が参加



（4）8月18日（水）：「選手団激励会及び練習見学会」

- ・高校生5人が参加

[選手団激励式]



[練習見学会]



■選手団の練習：



(5) 8月21日(土)：「ホストタウン高校生がドイツから学び・考える地域の課題解決」～高校生が考えるホストタウンの取組を通じた「共生社会の実現」・「地域活性化」のために私たちができること～発表会

全国の高校生代表とともに島原高校生2人が参加し、ドイツとのオンライン交流を実施しました。



(6) 11月30日(火)：「POTENTIAL MEETS YOU」

島原高校体育館において島原高校生174人の参加により、元パラリンピアン「花岡 伸和」氏を招き、講演やパラリンピック競技の体験を行い、パラスポーツの観戦で感じた思いを、今後の共生社会を理解する上で更なる学びの機会の充実を図りました。



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	200,189千円	188,643千円	418～421

【学校教育課】

○学校給食経費 188,643千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図りました。

- ・消耗品費 9,385千円
- ・学校給食業務委託料 112,229千円
- ・学校給食配送業務委託料 13,750千円
- ・その他委託料 6,667千円
- ・四小（給食施設）スポットエアコン更新工事 5,654千円
- ・機械器具費 7,630千円
- ・学校給食会運営費補助金 16,513千円



第四小学校（給食施設）
スポットエアコン更新工事

(安全及び衛生管理)

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年5回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年1回（3納入業者）

(学校給食の充実)

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（隔月）	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

(完全給食実施状況)

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
食数	第二小 293 第一中 378	第三小 288 第二中 208 第三中 190	第一小 507 第四小 235 三会小 259 三会中 155	第五小 360	大三東小 257 高野小 86 湯江小 245 有明中 269
年間合計	130,253食	133,290食	226,339食	70,596食	167,519食
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
11	2	1	土木施設災害復旧費(補助)	18,001 千円	11,777 千円	422~423

【道路課】

○土木施設災害復旧費(補助) 11,777 千円

土木施設災害復旧のため、下記のとおり実施しました。

災害復旧事業

葛箆沢線道路災害復旧工事 L=11m 7,927 千円

荒牧・向ノ原線道路災害復旧工事 L=8.5m 3,850 千円

【葛箆沢線】

着工前



完成

